

12/15 第四

内閣総辞職で国民の不信払拭を

無職

(愛知県 62)

自民党の「清和政策研究会」（安倍派）の政治資金パーティーをめぐる、いわゆる裏金疑惑で激震が走っています。岸田文雄首相は臨時国会開会に合わせて、組織的に裏金を作っていた疑いのある安倍派の松野博一官房長官ら4閣僚と副大臣5人の計9人を交代されました。ですが、もはやそれで国民が納得する段階ではないのではないか。

国民にはインボイス制度などで厳しく納税を迫つておきながら、議員たちは法律の目をかいくぐつてしまふ裏金を作っていた——国民党は政治不信と

立派な政治に対する怒りがますます大きくなっています。岸田内閣では3人の副大臣や政務官が辞任したばかりです。今回の疑惑は岸田派の議員にも及んでいます。ついに議員の辞職が続出すれば、内閣やのものが、国民からの信頼を完全になくしてしまうでしょう。

この際、年明け早々にも岸田内閣は総辞職すべきですか。そして新しい内閣の下、政治に対する国民の不信を少しでも払拭できるよう努めるべし。内閣が続ければ、民主主義の危機もあると危険あります。岸田首相は今こそ英断するべきです。